朝鮮史稱謂　單

朝鮮史稱謂　全

G23
34

東京帝國大學圖書印
B 23475

教科用図書調査委員會

第二部會議案

嚴秘

（朝鮮用）

日本歴史ニ於テ教授スヘキ朝鮮歴史ニ關スル事項中ニ掲載スル各時代諸王ノ稱號ハ舊王氏高麗又ハ李氏朝鮮官撰ノ歴史ニ掲ケル王號ヲ用ヒテ以シモ諱ヲ掲ナス（高麗ノ禑昌二廢王ヲ除ク）高麗以後ニ於テ諡號アルモ廟號ナキモノハ諡號ヲ用ヒ諡號ノ外廟號アルモノハ廟號ヲ用フ

（理由）

朝鮮各時代諸王ノ稱號ハ諡法ノ始メテ行ハルル以前ハ直ニ其名ヲ稱シ又ハ種々ノ稱號ヲ用ヒ諡号アルニ及ヒテハ新羅ニ於テ武烈王ニ太宗ノ廟号ヲ称シ王氏高麗ニ於テハ忠烈王以降ハ王ノ外歴代諸王ニ對シ何レモ廟号ヲ用ヒ李

鷗外藏書

氏朝鮮ニ於テモ亦始祖以下何レモ廟号アリ而シテ朝鮮諸王ノ諱ハ特別ノ文字ヲ多クシテ讀誦ニ困難ナルノミナラス朝鮮歴史ニアリテハ諱ノミ掲クルコト稀ニシテ王號ヲ記スルヲ普通トス（高麗ノ廢王禑昌ノ二人ハ謚号ナキヲ以テ常ニ諱ヲ用フ）又王氏高麗以後謚號アルモ廟号ナキモノハ

謚

諱号ヲ称スルノ例ナルモ謚號ノ外廟號アルモノハ何レモ廟號ヲ稱スルコト最モ普通ニシテ知リ易ク且ツ廟号ハ朝鮮ニ於テ自ラ之ヲ称シ宗主國ニ報告シテ認承ヲ經タルモノナルモ尚殿下、教、薨去等シタハ遜避ノ文字ヲ用ヒテ陛下、勅、崩御等ト称セス由テ之レカ為メ全ク天子ニ擬スルニアラス即チ朝鮮ニ於テ舊時慣用セシ一種ノ稱號ト見做スヘキモノナルヲ以テナリ

（參照）

朝鮮總督府檢定濟
新撰大日本帝國史略　拔萃

新羅

一任那の日本府は初め加羅諸國を領し後附近の小國を併せて半島の重鎭たりしが新羅は其國力伸ぶるに從ひ舊恩を忘れて漸次に加羅諸國を侵略し且つ鎭將等を誤りしがため欽明天皇の御代に至り新羅の(ロ)眞興王（第二十四）は任那を襲ひて遂に日本府を毀てり

(イ)諱彡麥宗

(四)諱法敏

一、唐は(四)文武王の爵を削り将を遣して之を伐ち其罪を謝せしめしが王は……遂に半島の大半を領有せり（皇紀一三三五年頃）……文武王が麗濟の故地を統一してより以後凡そ九十年間は新羅極盛の時期にして盛に唐の文物を輸入し内地に在りては恰も天智天皇改新の政治を行はれてより以降奈良朝の盛時に相當せり

高麗

一、高麗の始祖王建は半島を統一したるを以て……

(二)諱建
(三)諱治

(二)太祖の後四世の間多くは政を失いて内亂絶えず僅に社稷を保つに過ぎざりしが(三)成宗（第六王）立つに及び精勵治を圖り……太祖の遺業を完成せり

一、幾ばくもなくして權臣廢君を擁立して……就中崔忠獻の一族四世の横暴驕慢は古今に比なしと稱せられ最も紀綱を紊りしは(四)高宗第二十三王の時（我北條義時執權の時）漸く誅滅し盡され……

(四)諱皞

(五)諱顓

一、吉野朝廷の末期は恰も高麗の末葉に當り(五)恭愍王（第三十一王）之に王たりしが……辛旽を信じて之に國政を委

ねしかば旽竝に其の子禑勢を恃みて驕暴度なく禑は一時擁立せられて王位に上りしも李成桂鄭夢周等相謀[illegible]之を廢して[5]恭讓王を立てたり

朝鮮

一[6]太祖の後[7]定宗を經て[8]太宗立つや……[9]世祖第七王[10]成宗第九王の世に及び文化頗る進み……

[11]明宗死し[12]宣祖第十四王嗣ぐに及び治を勵みて前代の弊政を矯め頗る人心を得たり……

一朝鮮は國初以來明の外藩となりこれに事ふること謹愼を極めし關柄なれば宣祖は遂に秀吉の要求を拒みたり秀吉怒り明を討つに先ちて朝鮮を征せんとし関白の職を養子秀次に讓りて自ら太閤と稱し本營を名護屋に置き自らこゝに赴きて征明の師を督せり宣祖は頻りに使を明に遣して救援を求めしかば……

(5) 諱瑤
(6) 諱旦
(7) 諱曔
(8) 諱芳遠
(9) 諱瑈
(10) 諱娎
(11) 諱峘
(12) 諱昖

新羅

(朴氏)赫居世

(昔氏)脫解王

逸聖王

(金氏)奈解王

味鄒王

訖解王

訥祇王

智證王 諱智大路 謚曰智證

眞智王 諱金輪

眞德女王 諱勝曼

文武王 諱法敏

南解王

(朴氏)婆娑王

阿達羅王

(昔氏)助賁王

儒禮王

(金氏)奈忽王

慈悲王

法興王 諱原宗

眞平王 諱白淨

武烈王 諱春秋、廟號太宗

神文王 諱政明

儒理王

(昔氏)祇摩王

代休王

沾解王

基臨王

實聖王

炤智王

眞興王 諱彡麥宗

善德女王 諱德曼

孝昭王 諱理洪

聖德王 諱隆基
惠恭王 諱乾運
照聖王 諱俊邕
興德王 諱秀宗
文聖王 諱慶膺
憲康王 諱晸
孝恭王 諱嶢
景哀王 諱魏膺

孝政王 諱承慶
宣德王 諱良相
哀莊王 諱清明
僖康王 諱悌隆
憲安王 諱誼靖
定康王 諱晃
神德王 諱景暉
敬順王 諱傅

景德王 諱憲英
元聖王 諱敬信
憲德王 諱彥昇
神武王 諱祐徵
景文王 諱膺廉
眞聖女王 諱曼
景明王 諱昇英

高麗 高氏

東明王 諱朱蒙 號東明王
閔中王 諱解邑朱
次大王 諱遂成
山上王 諱延優
西川王 諱藥盧
故國原王 諱斯由
廣開土王 諱談德
安藏王 諱興安
平原王 諱陽成
寶藏王 諱臧

瑠璃王 諱類利
慕本王 諱解憂
新大王 諱伯固
東川王 諱憂位居
烽上王 諱相夫
小獸林王 諱丘夫
長壽王 諱巨璉
安原王 號寶延
嬰陽王 諱元

大武神王 諱無恤
太祖王 諱宮
故國川王 諱男武
中川王 諱然弗
美川王 諱乙弗
故國壤王 諱伊連
文咨王 諱羅雲
陽原王 諱平成
榮留王 諱建武

聖明王

百濟 扶餘氏

温祚王
多婁王
己婁王
蓋婁王
肖古王
仇首王
沙伴王
古爾王
責稽王
汾西王
比流王
契王
近肖古王
近仇首王
枕流王
辰斯王
阿莘王
腆支王
久爾辛王
毗有王
蓋鹵王 名[illegible] 諱蓋鹵
文周王
三斤王
東城王 名牟大 諱東城
武寧王 名斯摩(餘隆) 諡日武寧
聖王 名明穠 諡日聖
威德王 名昌 諡日威德
惠王 名季明 諡日惠
法王 名宣 諡日法
武王 名璋 諡日武
義慈王 名義慈

高麗 王氏

太祖 諱建 諡日神聖大王
惠宗 諱武 諡日義恭
定宗 諱堯 諡日文明
光宗 諱昭 諡日大成
景宗 諱伷 諡日獻和
成宗 諱治 諡日文懿
穆宗 諱誦 諡日宣讓
顯宗 諱詢 諡日元文
德宗 諱欽 諡日敬康
靖宗 諱亨 諡日容惠
文宗 諱徽 諡日仁孝
順宗 諱勳 諡日宣惠
宣宗 諱運 諡日思孝
獻宗 諱昱 諡日恭殤
肅宗 諱顒 諡日明孝
睿宗 諱俁 諡日文孝
仁宗 諱楷 諡日恭孝
毅宗 諱晛 諡日莊孝
明宗 諱晧 諡日光孝
神宗 諱晫 諡日靖孝
熙宗 諱韺 諡日成孝
康宗 諱祦 諡日元孝
高宗 諱皞 諡日安孝
元宗 諱禎 諡日順孝
忠烈王 諱昛 忠烈、元贈諡
忠宣王 諱璋 忠宣、元贈諡
忠肅王 諱燾 忠肅、元贈諡
忠惠王 諱禎 忠惠、元贈諡
忠穆王 諱昕 忠穆、元贈諡
忠定王 諱眡 忠定、元贈諡
恭愍王 諱顓 恭愍、明加諡
恭讓王 諱瑤

朝鮮 李氏

太祖 諱旦 至仁啓運應天肇統廣勳永命聖文神武正義光德
高皇帝 康献

定宗 諱曔 懿文莊武溫仁順孝大王 恭靖

太宗 諱芳遠 聖德神功建天體極大正啓佑文武睿哲成烈光孝
大王 恭定

世宗 諱祹 英文睿武仁聖明孝大王 莊憲

文宗 諱珦 欽明仁肅光文聖孝大王 恭順

端宗 諱暐 恭懿溫文純定安莊景順敦孝大王

世祖 諱瑈 承天體道烈文英武至德隆功聖神明睿欽肅仁孝
大王 惠莊

睿宗 諱晄 欽文聖武懿仁昭孝大王 襄悼

成宗 諱娎 仁文憲武欽聖恭孝大王 康靖

○燕山君

中宗 諱懌 徽文昭武欽仁誠孝大王 恭僖

仁宗 諱峼 獻文懿武章肅欽孝大王 榮靖

明宗 諱峘 獻毅昭文光肅敬孝大王 恭憲

宣祖 諱昖 正倫立極盛德洪烈至誠大義格天熙運景命神曆
弘洪隆業顯文毅武聖睿達孝大王 昭敬

○光海君

仁祖 諱倧 開天肇運正紀宣德憲文烈武明肅純孝大王

孝宗 諱淏 欽天達道光毅弘烈宣文章武神聖顯仁明義正德
大王

顯宗 諱棩 昭休衍慶敦德綏武純文肅武敬仁彰孝大王

肅宗 諱焞 顯義光倫睿聖英烈裕謨永運洪仁峻德配天合道

啓休篤慶正中協極神毅大勳章文顯武敬明元孝大王

景宗 諱昀 德文翼武純仁宣孝大王

英祖宗 諱昑 至行純德英謨毅烈章義弘倫光仁敦禧體天建極聖功神化大成廣運開泰基永堯明舜哲乾健坤寧配命垂統景曆洪休中和隆道肅莊彰勳正文宣武熙敬顯孝大王

正祖宗 諱祘 敬天明道洪德顯謨文成武烈聖仁莊孝宣皇帝

純祖 諱玜 淵德顯道景仁純禧體聖凝命欽光錫慶繼天配極隆元敦休懿行昭倫熙化峻烈大中至正洪勳哲謨乾始泰亨昌運弘基高明博厚剛健粹精啓統垂曆建功裕範文安武靖憲敬成孝肅皇帝

憲宗 諱奐 體健繼極中正光大至聖廣德弘運章化經天緯武明仁哲孝成皇帝

哲宗 諱昪昇 熙倫正極粹德純聖欽明光道敦元彰化文顯武成獻仁英孝章皇帝

壽德宮李太王 諱熙 初載晃 字聖臨 号誠軒
父興宣大院君昰應

國史ノ扶韓事蹟

淺見倫太郎

一、韓土服屬ノ韓土ハ何レノ地域ヲ指スヤ

韓土ヲ今ノ朝鮮全部ヲ指ストスレバ誤リニ誇誕ナリ

今ノ朝鮮ノ地域ヲ統一セシハ李氏朝鮮ノ太宗ノ時代

三服屬ニ李氏朝鮮ノ三大事業ノ一ト稱スル所ナリシ

又漢江流域以南ノ地トスルモ時代ニ従テ大差アリ

又服屬トハ何ノ意義アルヤ全ク唐ノ常道

ノ一道ハ洛東江ノ三角地ニシテ駕洛ノ東ニ在ル

加伐ニ洛東江ノ名アリ其ノ三角地ハ上古ヨリ倭人ノ棲ム

所ニシテ下ハ陳壽ノ三國志ニ明記アリ倭人ヲ日本

人ト謂ヘシハ太古ヨリ我ノ者ナリ何ソ服属ヲ論
スヘキコトアランヤ然ラハ高句麗カ百済カ新羅ナラン
高句麗ハ我ト対立ノ国カ存セシモノナラス大ハ或ハ支那
大陸ト対立セシ国ニシテ勢力ヲ有セシモ我ノ服属ニ非ス
新羅ノ国ヲ成セシハ我ノ徳神功皇后ヨリシテ百済ノ為ス鶏林ノ法
此ハ大略儒阿道ノ支那東漸ニシテ梁武帝ノ未年ナル
ヲ我欽明帝ノ崇佛ノ時代ト大差アラス西暦ニ延紀
ノ初メニシテ崇神帝時ヨリ韓土ノ服属ヲ説クハ
王逸島有ノ親ナリ
而シテ服属ハ或ハ之レアランモ服属以外ニ好字

○ナリ持来リ傳ヘト
イフヘキカ

面アラサトカ
三国志ハ西暦二八八年頃ノ作ナリ撰識優者ニシテ
未ア鏤ツヲ採ルコトヲ忍セサルヲ見レハ半島ニ於ケル三民
族並立ノ状態ハ（三民族共ニ）韓人ヨリ優レルナリ
此時代ヲ扶韓攘胡トイフヲ可トセサルヤ

二、韓土ハ早クヨリ支那ト交通シ学問ヲ技藝ヲ得ヘ
タルヲ説ク此ノ韓土ハ何レノ地域ナルヤ韓民族ノ棲息
地域ノ謂ナリ支那ノ燕ノ依帯方ニ流従セルヲ認メルトキ韓土ニ非ス持発ヘ 歴史教科書ノ誤モ亦甚シ
ナモノナシ

稚郎子ノ師ト稱セラレ王仁ハ王姓ノ人ナルベシ今ノ黄海
道黄州附近ノ古墳ヨリ出タル塼文ニ王長者
大康元年三月王造ノ文字アリ又後漢以後此地方ニ出
身ノモノニ王氏多シ王仁ノ出自ヲ帶方地方ノ人
ト解スルハ寧ロ自然ニシテ又百濟ノ文化ハ自發的ノモノニ非
ズ帶方乃至樂浪ノ支那移民ト交通シテ韓土ノ形ハ百濟ト帶方樂浪
共ニノヲ又韓土トイフノ韓土ト共ニ以外ノ精識沃沮ノ
韓土ト混淆雜出シテ韓ノ韓タル何モノタルヤヲ
知ル人アラザルハ誤妄ノ極ニシテ今ヲ恐ルルコトモ莫大ナリ
太古時代ハ句麗ノ南進以前ノ樂浪郡（黄海郡名）トノ
（平壌ニ郡セルトキ）

交通ト句麗南進以後ノ交通トハ時代ニ大懸隔
アルヲ混ジテ談論スルハ誤謬ナラン
當時ノ外國風ノ工藝トハ何レノ地方ヨリ外國トイフヤ文
那人ヲ云フ或ハ朝鮮ヲ指シテ中國沈滴ノ時代トセルニ漢
然ラバ外國ノ名ハ雲漢ノ語ト大差アラザルナリ
現代朝鮮ノ併合以後此等ノ觀念ヲ得ルコトハ容
易ナリノ國史ノ叙事ニ一工夫ヲ加フベシ

中古

元寇ノ事ハ尋常科ニ在リ高等科ニ免レ削

一 唐宋ヨリ遼宋時代ハ彼我共ニ乱離ナルモ我邦ハ
概ネ渤海及後高麗ノ障壁アリタルカ為メ安穏ノ時代
ナリ 蒙古ノ勃興ハ所謂元寇ノ難ナルモ小學校ノ教科
書 明治ノ末年出版セラレシ御歴代ノ三言ノ記事ヲ除キ所謂封
岸ノ文ハ全ク之ヲ省キ中等教科ニハ皆之アリ
弘安ノ役 寇ノ役ハ彼我多様ノ欲望ヲ定ムルコト能ハズ之レカ実
状ニ際シテハ高麗ノ是迄ニカ寄与シ 其ノ
免脱帰國ノ手段トシテ兵馬船舶ヲ準備シテ先導タラント試
減セル結果トシテ五月大風十月小風ノ天候ヲ危殆ニシテ
未発セルアリ露徒ノ報ヲ受ケタルハ一ハ海國タル日本ノ

尋常小学歴史ニ
逃帰ラ三人トアリ
此点削ルベシ

萩野博士ニ見セテ
ノちニ見エ

好治攄ヘタルコト小ナラス又ソノ才モ教科ニ立ツ所ナシ也不忍ノ日蓮宗ト

来セシハ小太甘ノ事ヲ継クナス事ヲ

中学教科書ニ元寇ノ叙事ニハ逃レ帰ル者僅ニ三人ト云フコトヲ記

三人以上ノ衆ト云フ三ノ字ノ下ニ云フ数トイフモ同義ナリ張イテ三人トノフ語ヲ避ケ

ハス蒼ニ高麗人ノ逃帰リシ許多ナルヲ存リトセバ卵ト共軍ヲ全フ

ニテ帰リタルナリ又天災ノ為メ覆没シタリトセバ必スシモ

大敗 遁帰トイフヲ借リテ叙事不当ナリ又後日ノ海賊船並

ニ豊太閤ノ入韓倭寇ノ称ト朝鮮ノ役トイフコトナリ国

史教科書ニ一モ之ヲ言ハス

一 後高麗ト李氏朝鮮トノ変遷ヲ叙スルニ誤謬

アリ李成桂ガ即位シタルハ王位ニ即クルコトヲ言フ又

近古

李成桂ノ自立ハ異姓ニシテ後高麗ノ王位ヲ継承シタルニ

アラサリ其高麗史ニモ禅譲傳授ノ手続ヲ叙シ又李

成桂ガ明太祖ニ封爵ヲ請フコトアリ権知高麗國事

臣李成桂ト言ヘリ仮令其ノ心術ハ篡奪ニ等シト

スルモ新羅ノ後高麗ノ平和的降服ト形式ハ異ニセリ

此ノ事実ヲ無視シ李成桂ノ自立ト載セタルハ国

真実ニ非ス殊ニ之ヲ傳授ト謂ハスシテ自立トイフ如

キハ國語ノ使用法ヲ誤レルモノナリ

作者明治四十三年統治権譲与ノ條約ヲ

叙スルニ当リ日本ハ自主ニシテ帝国ト為シリト謂ハ八三尺ノ

児童モ其ノ謬妄ナルヲ笑ハンノミ

無割除
精兵ノ夜襲ニ因リ進撃シテ大同江ノ結氷ヲ渡リ落シ入城シタルハ取ルトイフベキナリ

一、朝鮮征伐ノ語ハ天皇海外ノ語ト等シク我邦ノ時用語ナレドモ不当ニ非サルモ之ヲ標題ニナサンヨリハ概略ノ叙事ニ之ヲ用フベシ大閤ノ通書ニ一超直入大明ノ語アルニ依リ遂ニ藉リテ明ニ入ルノ旨意ヲ叙スベキモノナリ
林ノ戦争ヲ起スカ如キ事ノ謬見一二ヲ擧ゲン 我軍カ京城ニ入ルニ先タツ三日國王ハ既ニ遁去リテ乱民蜂起シ一兵ノ我ニ抗スルナシ 京城ノ陥ルハトイフヘキカ 謬誤ノ一ナリ
行長ノ平壌ニ入ルモ尺兵ニ血ヌラス 之ヲ取ルトイフヘキカ 謬誤ノ二ナリ 清正ノ二王子ヲ獲ケルモ受降ナリ擒ニハアラズ 謬誤ノ三ナリ 碧蹄驛ノ戦勝ハ隆景ノ一軍ニハアラズ

宮内省

沈惟敬ハ 沈惟敬等詐テ之ヲ破ルト書シテ總大將ヲシテ已ニ然リト思ハシムルモノアラバ文法ヲ知ラザルノモノナリ

誤謬ノ四ナリ 秀吉カ封王ノ國書ヲ焼シハ其ノ文字ノ如何ニハアラズ 朝鮮ニ遂ノ割譲ヲ約シテ之ヲ一ニモセザリシカ故ナリ 秀吉ノ淺慮ヲ揶揄スルハト謂フベシ 誤謬ノ五ナリ

此ノ戦争ノ終局ハ我軍百戦百勝シテ最後ノ地ニ駐マル能ハザリシニ依テ鮮人ノ史家ハ勝手放題ニ我ノ敗北ヲ叙セルハ當然ナリ 然レトモ今日之ヲ記スルニ當リ彼ノ筆ニ傚フハ眞實ニ非ズ 我海軍ハ最後ニ李舜臣ヲ斃シ其ノ軍ヲ全フシテ去レリ 之ヲ較綫トイフハ或ハ當レリ 敗北ト書セルモノノ如キハ曲筆ノ若クハ文識ノ闕如スルモノナリ 誤謬ノ六ナリ

他ノ其大小誤謬ヲ摘指スレハ勝ヘズ

一、最近江華ノ砲撃ヨリ俄然通商並ニ日清日露ノ戦争カ半島ノ地域内ニ於テ行ハレ外交権ノ委付ト司法権ノ委任、統治権ノ譲与ニ至ルマテ二千年来折衝ノ迹ヲ見ルニ扶韓懲胡ノ必要ニ出テサルハナシ　國史

一、教科書中ニ之ヲ切言スルノ要アリカ

柳城ノ備邦君主ニ對スル我ノ礼遇ハ彼土ノ人カ舊君主ヲ視ルニ比シテ大ニ其ノ趣ヲ異ニスルモ彼土ノ人ハ帝王尊アリ

ニ於テハ何人モ[illegible]ヲ得サトニアラスト思ヘリ

彼ハ君臣関係ヲ以テ一代限リトシ且ツ仕官ニ始マルト為ス

登科ハ仕官ノ一方法ニシテ郷吏出身ハ与カラス故ニ郷吏農民ハ君民ノ関係アレトモ君臣関係無シト見做セリ

彼ノ外戚ニ属スル戚臣ノ一派ニ於テ累世義[illegible]ノ君臣関係

信ヲ認ムルモ其ノ根本観念ハ前者ト同趣ノ観念ナリ
我邦君臣ノ関係ハ元来其ノ身分ノ定マレルコトヲ根
本観念トスル如キハ業已ニ千年以来一切武断ノ訓練ヲ
経タルト合一シテ得タル事実ニシテ朝鮮人ヲシテ容易ニ
之ヲ理解セシムルコト得ス唯法律ノ力ニ依リ之ヲ牽制シ得
ルノミ

例証　往時韓民ハ李太王ノ前ニ跪シ其怨言ニ唖称シテ李者
房ト称シ罵称シテピンデー（南京虫）ト云ヘリ我邦ニハ
然ラリハ極メテ悖逆ナル者ト為シ君主ニ対シ之ヲ称セズ李
王カ盗賊信ト相隔ルニ及ヒシハ一般人民ハ殆

ト道路人ト同シクス朝鮮貴族ノ王家ヲ問安スルノ
旧時ノ侍従ノ臣若クハ奉朝請ノ経歴アルモノニ過ギザルカ如シ
後世ノ君臣関係ノ疎遠ナルコト知ルヘシ
昨年三月騒擾ニ互ヒ人民擾乱ニ當リ男女学生カ萬歳
ヲ唱ヘテ徳寿宮ニ闖入セントシ為ニ殿下ヲ驚擾セシ
ハ論ナシトスルモ当時石造殿ニハ王世子カ喪服セルアリ
而シテ民衆ハ一モ擁立推戴ヲ言フモノ無シ民心ノ
李氏ヲ厭フモ久シ
李堈公カ挟持セラレテ脱出セントセル如キハ一二ノ策士ノ
謀ニ出テタルノミニテ民衆ノ常情ト相渉ラサルヲ思フ

宮内省

韓民族ハ我ト異ルナキヤノ明確證ハ必要ナキカ

思フニ朝鮮ハ瑣細ナルコトニテ二千年来支那ノ典故ニ韓人ノ性癖ヲ評論セル語トヲ連結シテ今ノ朝鮮人ノ性癖ヲ論定シ其ノ結果我ノ性癖ト異ルアリト認メ日韓民族ハ別種ナリ同種ニ非ストシ多数ノ韓民族ヲ其ノ故地タル濊水アリチ黒龍江ノ如キ地方即チ牟ノ角ノ地方ニ擯斥スルモ不可ナカルヘク又ハ我ト同化セントスルモノハ同化スルモ不可ナカルヘシトシ極論セントス 民ヲ易ヘテ治メサルコトハ古訓ナリト雖モ別種ノ民タルコト其ノ韓民族ノ多数ハ流徙民族ニシテ流徙ヲ好ムコト大約二千余年ニ過キ

サルノミ 三國志中ノ断片ト現時ノ風俗トニ多少其ノ痕迹ヲ推定スヘキモ我日本人ハ太古以来土着ノ民タルト異ルト言フモ可ナラサルヤ

三國志東夷傳ニ　濊俗多忌諱　毛婦ト譯スヘシ

宋徐兢高麗圖經ニ　其俗淫褻　人願リ好ムト訳ス

寡恩　適訳ヲ知ラス不人情ト訳ス

好色　支那人ト近クヒニアルカ

重利　錙銖ヲ争フノ類

石韓時ノ明儒ノ言ニ　政令煩苛民不堪其命

清太宗招諭中ノ語ニ　爾國[illegible]

朝鮮人ノ性癖ハ簡ナルニ之ヲ言ヘハ極メテ辯舌ニ巧ニシテ

シテノ人願ヲ好キハ疑ナキモ言ノ少キヲ堅要ナルモノヽ如ク遁及フナトヤ

宮内省

宮内省

其ハ回避シテ書約極リナシ往年我外交官カ筆ヲ
以テ開港ヲ迫リタルトキノ筆記ニ徴シテ疑ナク又日常
ノ談話ニ口語體ノ文緊切ヲ缺ク我ハ意識ノ結果カ流儀ノ
異ナルニモ因ルモノアラン
細カニ其ノ摩砂ヲ察スル人ニ悲観的ナル如ク又厭世
的ノ如シ蓋シ其ノ中心ニ消極絶望ノ思想アルモノノ如ク
紛乱ニハ逃避ノ場ヲ求メ無事不二ノ妙境ト称シ又弱ノ
字ヲ分析シテ弓弓乙乙法ト称シ一ノ讖緯説ヲ捏造シ
道詵秘訣又ハ鄭堪録ノ如キ虚妄ノ説ヲ謄写シテ秘讖セシ
又他ニノ民事ヲ喜ハサルノ風アリテ從來相互排陥セシノ

ヲ持シテ新來ノ日本人ニ對スルハ近付ノ趨勢ナリ皆
忌諱ノ一語ヲ以テ概括スヘキカ如シ
常ニ四圍ノ状勢ニ注意スルカ如キモ其ノ想ヲ行久往々
排フニ虚妄ノ流言ヲ以テシ一吹地ニ墜ルモノアリ又ハ他ノ
附和雷同ヲ待ハ喜フモノアリ此ハ意識ノ結果ナルモ甲ニ懐疑ノ
心情アルハ疑ナカルヘシ
其ノ風俗ハ變シ易クシテ不一懐セサルハ風ニ從フ柳ノ如キ
モノアリ又情レルコトハ石ノ如クナルコトアリ極メテ御シ易ク
シテ又極メテ守ルニ難キモノナリ
以上ハ皆情從遊敎ノ民俗ニ適者ナル性癖ニシテ久シク

弐ハ朝鮮教科書ニ依テ中庭シーノ但シ
庭及ニアラズ

土着ニト否ト土地ト親密ナル関係アルノミナラス隨テ現在

（隨処ニ随伴ノ利益並ニ空虚台場ノ制度等ニ多行シタ 比十）

土着ス否トニ在テ姓数ノ時代ヲ距ルコト遠カラザルモノニ非ザルヲ以テ

如何シヤ

其ノ如キ人民ニ（対シテ）扶韓ノ事蹟ヲ加ヘタル國史ヲ授クルモ何等ノ事

無キカルベキモノナルコトモ明瞭（十九五我カ必要ニ応シテ）我邦ハ自家存

立ノ為メ韓地ヲ保持シ韓民ヲ扶持スルノ必要アルヲ知

ラシムルハ必要ナルヘシ故ニ新羅ノ背叛後高麗ノ擾乱李

朝ノ傲慢不遜ノ事情ハ其ノ真想ヲ掲ケテ吾人ノ子

弟ニ授クノ必要ナルヲ思フ従来ノ國史教科書ハ此点ニ

於テ非常ナル不注意アルモノナリ

元寇図

朝鮮人ノ歴史學ハ通鑑綱目（提要 明人作）ノ尊周論ヲ反覆シタル

モノニシテ自國ノ歴史ヲ顧ミス偶ゝ前朝ヲ非難シテ自ラ其ノ

曖昧ヲ覚ラサルノ類ナリ李朝ニ識ノ学者李王ヲ懐フノナ

キハ國俗ノ然ラシムル所ナリ近時少民族育法ヲ唱フルモノ

アルモ到底有力ナル根柢アリト信スル能ハス何トナレハ彼等ノ人ニハ

國民的訓練トイフ（国家成立ノ）要素ヲ缺クトコロナリ

此彼等流儔ノ我カ史章ナリ寺ヲ扶韓ノ事蹟ヲ了解

セシメンニハ我國史教科書ハ不用意ノ為勘ナカラ

ズ

又元寇ノ図ニ元兵ノ服装ハ我カ鎧ノ如キ観アルハ

誤ナリ綿入ニ錦ヲ打タルモノタルコト文禄役ノ明兵モ
朝鮮当時ノ軍服モ略同様ナリ因ヲ作ルモノニ其ノ襲
識ヲ与ヘ[illegible]ナルヤ疑ハシ注意ヲ要スヘシ

李氏朝鮮以前ノ称謂ハ三国史記ト高麗史ニ模シハ
足ル皆 諸侯国ニ政様シタルモノナレバナリ
李氏朝鮮ノ諸王ニハ其ノ名号ノ区別左ノ如シ

一 尊号 徽号 追上尊号徽号

王タラスサリシモノノ例ハ太祖以前ノ先代、承命代理中ニ死セシモノ又ハ后（王）タラスシテ死セシモノニ王后ノ称ヲ与ヘタルカ如シ

一 封号

王ト帝ト以外ノ君号夫人号ノ類 光海君燕山君ハ封号ナリ

一 廟号

朝鮮ニハ廟号ヲ与ヘサル王二人アリ光海燕山ナリ

宮内省

一 諡號
鄭道傳ノ經國典ニ
諡者節以一惠、若平生之善惡而除
世之勸懲焉、其有補於名教也多矣、
天子ヨリ王以下ニ一惠ヲ與ヘルモノニシテ臣下ヨリ
君主ニ上ルモノハ徽號尊號ハイフ諡號ト
イハズ
一 諱
王諱號
徳壽宮李太王ノ如キハ封號ナランモ我邦ニハ封號ハ異例ナリ
寧ロ別ニ王族號ト稱センカ